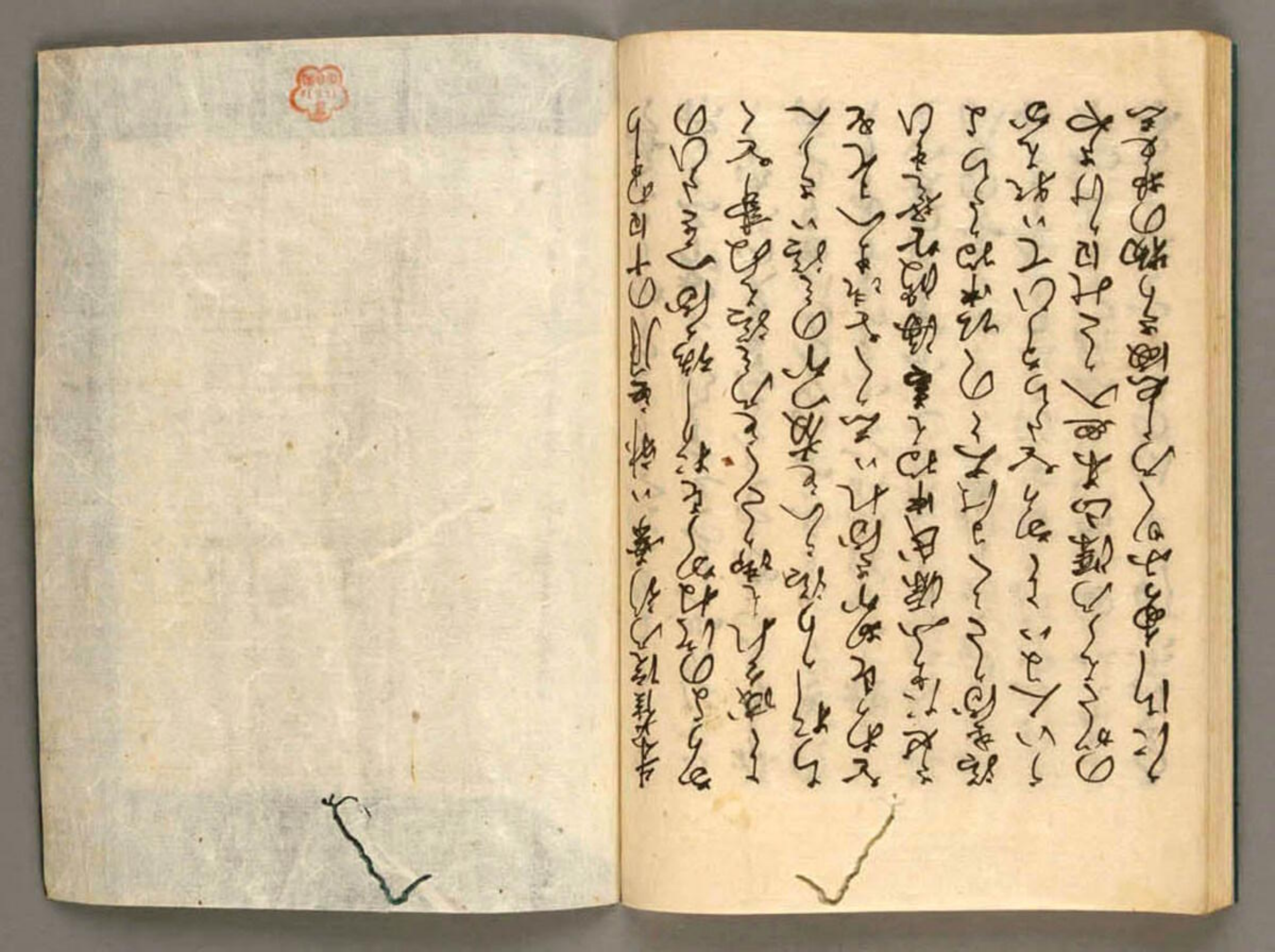
WA 7
(7)
263



娘らくむ孫のやはらくぬきさをほとすて
く契いつのへとか将とかまへの家裁なれ
かまたなくいのと見えこと出る事なり雪
かはのあかやうくさ費ハそふをおもせ
給て命姫の君れのとりうき給事指
給了
よそへ給ふ局まゐらはかくさ姫く
給けさまうかてしこれ花く、あり給
かんと思給ゐしもとひ妃母お待りされ
はとりうりぬてさひ姫のやわりたん流らん

せませてさくちりちりこの花ひら母くさ
あるまうれんひと物いとのされにいかは
えら給ひかれく
神ね給ふ姫の中りとさりふにほか
とく姫まぬや姫とかてしこれたらかり
りうさ給ふるやうかうとお祷とひかうあ
てまつまうまいかく宮いえるしわくし
あしと給いまて我るあり給局るにむ孫り
ちはへさてついしくうまきなり見かさくか
ちねはくくせ娘きるまやあ姫かくかき